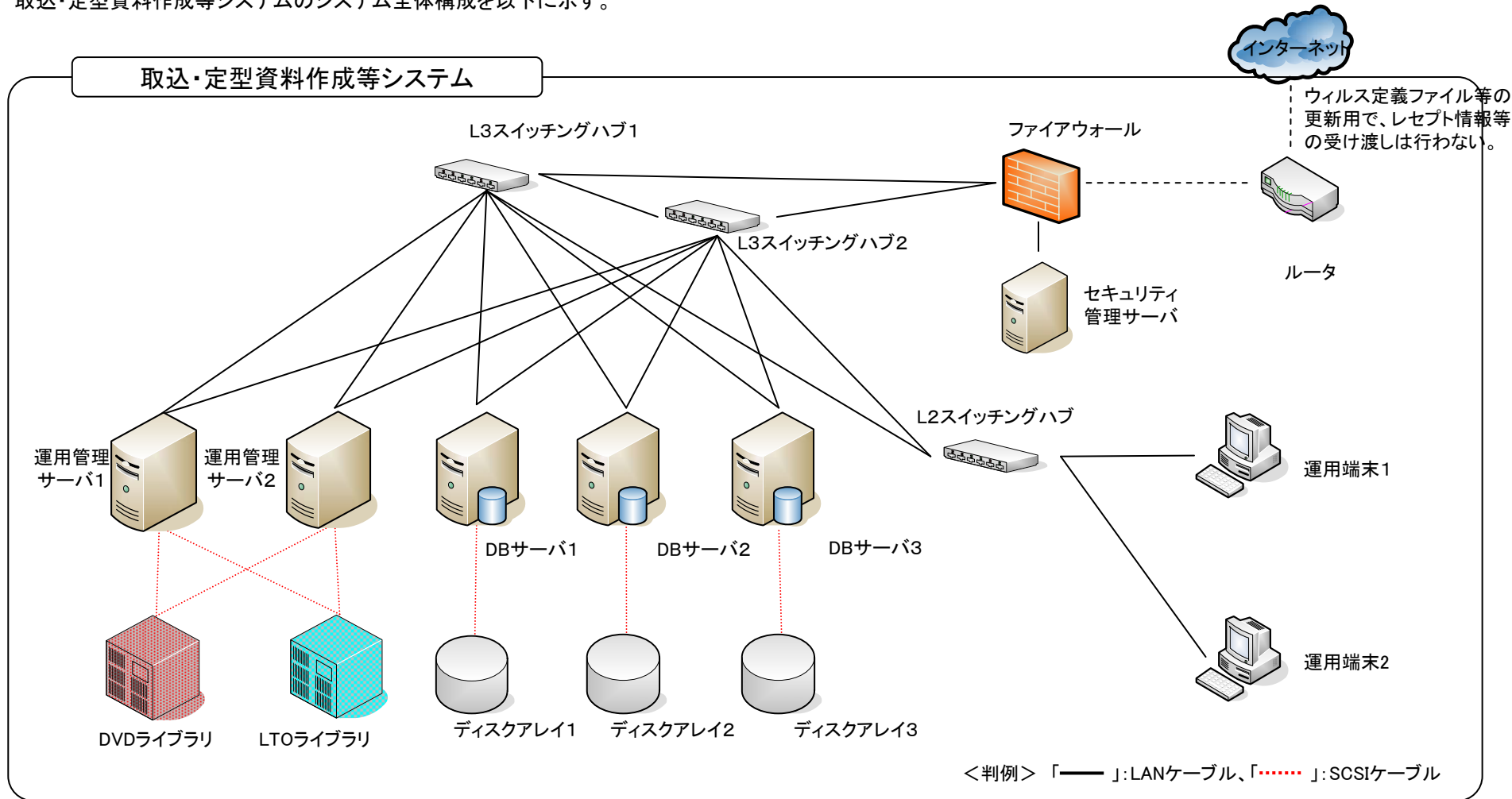


1. システム構成図

取込・定型資料作成等システムのシステム全体構成を以下に示す。



※周辺機器 (LTO/DVDライブラリ、ディスクアレイ、スイッチハブ、ファイアウォール) は、運用管理サーバへ障害検知が可能となる構成とする。

2. 機能要件を満たすための、システム構成の選択理由

各機器は以下の機能要件を満たす構成とする

○ DBサーバ/ディスクアレイ

- ・ レセプト情報及び健診・保健指導情報などのDB管理

※統計・分析の詳細規模が明確化された時点で追加される可能性のある、分析・統計サーバの構成に柔軟に対応できるよう、サーバを分散し、追加が可能となる構成とすること。

○ 運用管理サーバ/LTO・DVDライブラリ

- ・ 稼動状況管理（稼動の監視、ネットワーク状況監視、閾値管理、サービス稼動監視、ジョブ管理、サービス管理）
- ・ データ入出力管理（DVD/LTO媒体の入出力、バックアップ、リストア）
- ・ ログ管理（ログチェック）

○ セキュリティ管理サーバ/ルータ/ファイアウォール

- ・ セキュリティ管理（修正ソフトウェア（セキュリティパッチ）管理）
（インターネット接続による自動アップデート管理を行う）
- ・ ウイルス管理（エンジン・パターンの配布/ウイルスの検知）
- ・ アクセス管理（ユーザ認証/不正アクセス管理）

○ 運用端末

DBサーバに管理されたレセプト情報及び健診・保健指導情報の画面運用

○ スイッチングハブ

各機器間のネットワーク接続

3. 信頼性等要件を満たすための、システム構成の選択理由

各機器は以下の信頼性要件を満たす構成とする

○ DBサーバ/ディスクアレイ

- ・拡張性・事業継続性、段階的な追加が可能となる構成とする
- ・初期設備として、2台(+1台:障害時用)で、分散して処理
- ・ディスクアレイは初期で1年分のデータを格納

○ 運用管理サーバ/ LTO・DVDライブラリ

- ・拡張性・事業継続性を考慮して、サーバは2台用意し、ストレージはライブラリ装置を選択
(片系故障時は、運用による対応にてもう片方のサーバで運用基盤処理が可能となるようにする)
- ・名寄せ後のデータ/各種ログなどをストレージにてバックアップ(システムイメージは、ディスクアレイで取得)

○ セキュリティ管理サーバ/ルータ/ファイアウォール

- ・コスト効率を考慮して、冗長構成は行わない
- ・アクセスログの分析を考慮してログバックアップを行う

○ 運用端末

事業継続性を考慮して、2台用意し分散して処理

○ スwitチングハブ

- ・L3スイッチハブについては、事業継続性を考慮して2台構成とする
- ・L2スイッチハブについては端末台数増加によるネットワークコリジョンを考慮して、リピータハブではなくレイヤ2スイッチを用意する

4. セキュリティ要件を満たすための、システム構成の選択理由

各機器は以下のセキュリティ要件を満たす構成とする

○ DBサーバ/ディスクアレイ/ 運用管理サーバ/運用端末

- ・ユーザ認証(ドメイン参加によるログイン制御)
- ・アクセス制御(ファイルやディレクトリのアクセス制御、ソフトウェアのインストール権限など)
- ・ウイルス対策(アップデートの設定、定時スキャンの設定など)
- ・修正パッチ(セキュリティパッチ)対策(自動更新など)
- ・暗号化(システムから抽出されるファイル)

○ セキュリティ管理サーバ/ルータ/ファイアウォール

- ・ウイルスエンジン/パターンファイルの更新管理
- ・OS修正ソフト(セキュリティパッチ)の更新管理
- ・ソフトウェアの配布・提供状況の管理
- ・OSユーザ認証・インストール権限など動作ポリシー管理
- ・アクセス管理(不正アクセスの制御など)
(アクセス管理については、必要に応じて、ログ分析実施)

○ スイッチングハブ

経路/優先制御による機密性のある構成

5. 効率性を考慮した、システム構成の選択理由

各機器は以下のライフサイクルコストの効率性を満たす構成とする

○ DBサーバ/ディスクアレイ

将来的に拡張する際の開発・設備コストを考慮して、分散した構成とする

○ 運用管理サーバ/セキュリティ管理サーバ

運用効率を考慮して運用管理・セキュリティ管理を一元管理が可能となる構成とする

○ LTO・DVDライブラリ

運用効率を考慮して、ライブラリ装置構成とする

○ 運用端末

処理の同時性(処理効率)を考慮して複数台で同様の作業が可能となる構成とする

○スイッチングハブ

経路/優先制御により、機密性のみならず、使用帯域を効率的に分散させる